

EXPO2025 大阪・関西万博 万博国際交流プログラム

南宇和高校地域振興研究部がカナダと交流

内閣官房国際博覧会推進本部事務局から登録を受けた万博国際交流プログラムとして、5月31日(土)と6月1日(日)、大阪・関西万博会場で南宇和高校地域振興研究部がカナダと交流しました。

万博会場での交流のほか、カナダ大使館による出前講座、カナダと愛南町の特産品を使って開発する商品の勉強会、カナダからの留学生と南宇和高等学校地域振興研究部によるWEB交流などを行いました。



3/10

カナダ大使館、内閣官房国際博覧会推進本部事務局、南宇和高校、役場をWEBでつなぎ出前講座を実施し、カナダとのさまざまな交流事業を検討しました。



5/21

カナダからの留学生2人と部員がWEBで交流。万博会場での活動に同行してくれる2人の留学生と、当日の成功を願って親睦を深めました。

「カナダとあいなん
カナナンスープ」
Canada x Ainan
Cananan Soup

「カナダと愛南町の交流の
架け橋になりますように」
と想いを込めて!

"May it become a bridge between Canada and Ainan"
with heartfelt wishes!

12/3
2/20

交流プログラムの柱として部員たちは、町とカナダの特産品を組み合わせた特別なスープの商品開発に挑戦。料理研究家の近藤一樹さんや(有)ハマスイ協力の下、昨年末からレシピを考案し、2月上旬には試作会を実施。海外の方にも気に入ってもらえる味に仕上げるため味の改良を重ね、商品名やパッケージデザインも部員たちで協力し、万博会場でのお披露目に向けて商品開発プロジェクトを進行させていきました。





5月31日(土)、これまでの集大成として、万博会場に出席。完成した『カナなんスープ』のPRや、ヒオウギ貝の貝殻を使ったキーホルダー作り体験を実施し、来場者を楽しませるだけでなく愛南町のPRを行いました。

会場での活動には、カナダ人留学生2人も一緒に参加し、事前交流の成果もあり、協力して来場者へのおもてなしをしました。

6月1日(日)はカナダパビリオンを訪問し、貴重な体験をすることができました。

南宇和高校地域振興研究部員の感想

- 地域振興研究部で作ったカナなんスープのことを、町外の人に直接PRできたことが嬉しかったです！
- 万博を通してさまざまな地域や国の良さを知ることができました。願わくは、また行きたいです！
- 貴重な経験をさせていただきました。この経験を、今後の学校生活に生かしていきたいです！

カナダ・ネットワーク・シンポジウム

カナダ大使館より、日加姉妹都市、友好協会、ホストタウン、JETプログラム参加者および研究者の皆さまと人的交流促進について考える「カナダ・ネットワーク・シンポジウム」に愛南町が招待され、企画財政課政策推進室の桑原真也室長が参加しました。

このシンポジウムは6月30日(月)に万博カナダ館内で開催され、桑原室長は万博国際交流プログラムを通じて、南宇和高校地域振興部とともにしてきた、カナダと町の交流について参加者の方々へ報告を行いました。



【写真提供：在日カナダ大使館】